

# Meet the Musicians

楽団員紹介

謙虚かつ真摯に音と向き合うチェリスト

## 福崎 茉莉子

Mariko Fukuzaki

[チェロ奏者]2020年3月入団

趣味: Nintendo SwitchのFit Boxing 2



©N.Ikegami

### 表現の手段として

チェロとの出会いは、ヨーヨー・マの演奏を聴き感動した母が「うちの子にも!」と始めさせたのがきっかけ。と言っても、最初の1年間はレッスンの見学のみで、その後ようやく楽器を持つことになりました。当時、私は右手が動かさづらい症状を抱えていたので、リハビリも兼ねて弾いていましたが、その音程の幅広さ、音色の幅広さに惹かれて、日に日にチェロが好きになっていきました。私は話すときに抑揚が出にくいのがコンプレックスで……(笑)。

チェロでは音楽に入り込める、自分の感情を音に乗せることができるという喜びがあり、私自身の表現力を引き出してくれる存在です。



### ノット監督との音楽づくり

はじめてノット監督の指揮で演奏したのは2020年7月の「映像指揮」。私だけでなく、楽員全員が初めての経験で手探りだったこともあり、そのときはまだ“ノット監督”がどんな人なのか、把握することはできていませんでした。

初めてご本人(笑)とお会いしたのは、その半年後の「第九」のとき。ノット監督について、言葉

で説明するのはとても難しいのですが、リハーサルから溢れる情報量と熱量が凄くて、終始圧倒されていました。今までこんなことは無かったのですが、この「第九」のリハーサルの日は、自宅に帰ってそのままリビングで寝てしまったくらい(笑)。さらにノット監督はリハーサルと演奏会でも指揮棒の使い方が異なるので、戸惑ってしまうこともあったのですが、伊藤さん(ソロ首席チェロ)から「ノット監督は、指揮棒や上半身からの指示だけにとらわれずに、足元や身体の重心の動きも参考にするといいよ」とアドバイスをいただけてから、情報に迷わなくなりました。

### ニコ響3年目に

私の入団した月に始まった「#ニコ響」。生配信された演奏会の帰り道は、いつも視聴して復習しています。まずは俯瞰的に全体を聴いて、客席からの聴こえ方を認識して、次に自分のフォームや弓の使い方など、弾き方を細かく観察します。そして、家に帰って皆が寝静まってから、腰を据えてまたゆっくり観る。演奏会を通してはもちろん、こうして繰り返し聴くことでその曲がより一層好きになることも多いです。

今シーズンは10回の配信を予定しています。演奏会にいらっしゃることが難しい方はもちろん、もう一度聴きたい、繰り返し聴きたい方、みなさまのご視聴お待ちしております。

インタビュー:事務局